

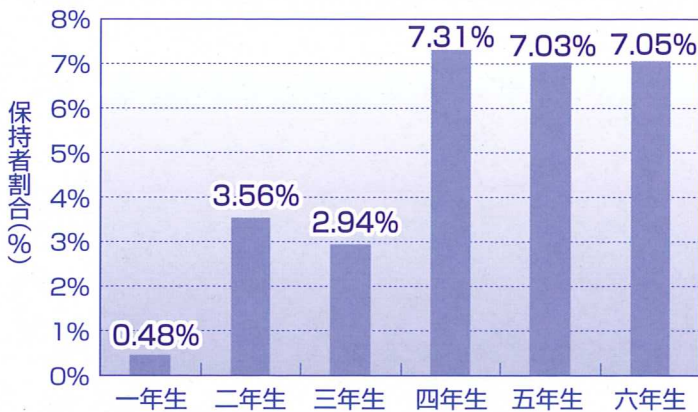
調査範囲

調査期間	平成 23 年 5 月 31 日から	配布枚数	1,670 枚	回収率	84.49%
	平成 23 年 7 月 19 日まで	回収枚数	1,411 枚	対象人数	1,828 人
調査対象	市内単位子ども会				

1 学年別ケータイ保有者割合

この表は、学年ごとに見たケータイ保有者の割合です。

ケータイ保持者割合が4年生から急に増えているのは、3年生までは「学童保育」の年齢であることと関係があると思われます。



課題

- ・ケータイを保持する子どもの数は、これから本市も増えると予想されます。
- ・子どもが小学生のうちから、親（大人）がケータイについて関心を持ち、ケータイについての知識を身につけておく必要があります。

2 ケータイを持たせない理由

ケータイを持たせていない方の、持たせない理由。

	内容	件数
1	持たせる必要がない	1,165
2	デメリットが多い	113
3	まだ早い	14
4	学校で禁止されているから	2
5	考え中	2
6	何年生から持たせたらよいか悩んでいる	2
7	中学生になってから	2
8	高校生になってから	2
9	学童保育該当学年のため	1
10	家計の事情	1
11	4年生からは考えている	1
12	身近に持っている人が少ない	1
13	持たせると便利だが、学校へ持って行けないと役に立たない	1
14	メモカードの抜き取りが心配	1
15	トラブルがありそう	1
	無回答	6
	計	1,315

「持たせる必要がない」が88.5%、「デメリットが多い」が8.5%、「まだ早い」が1%の順で、「持たせる必要がない」が圧倒的に多数でした。本市の子どもたちのケータイ所持者が少ないので理解できる結果だと推測できます。

課題

- ・小学生の子どもにはケータイを「持たせる必要がない」と考えている親が多いが、ケータイ保持者は潜在的に増加傾向にあります。
- ・子どもにケータイを持たせていない親も、ケータイについての知識を学んでおいて、今後に備えておいた方がよさそうです。